



**第48期('10年1月期) 第2四半期決算短信(非連結)
補足説明資料**



2009年9月4日

株式会社アルトナー

I 第48期(’10年1月期) 第2四半期決算概要

I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要 業績ハイライト

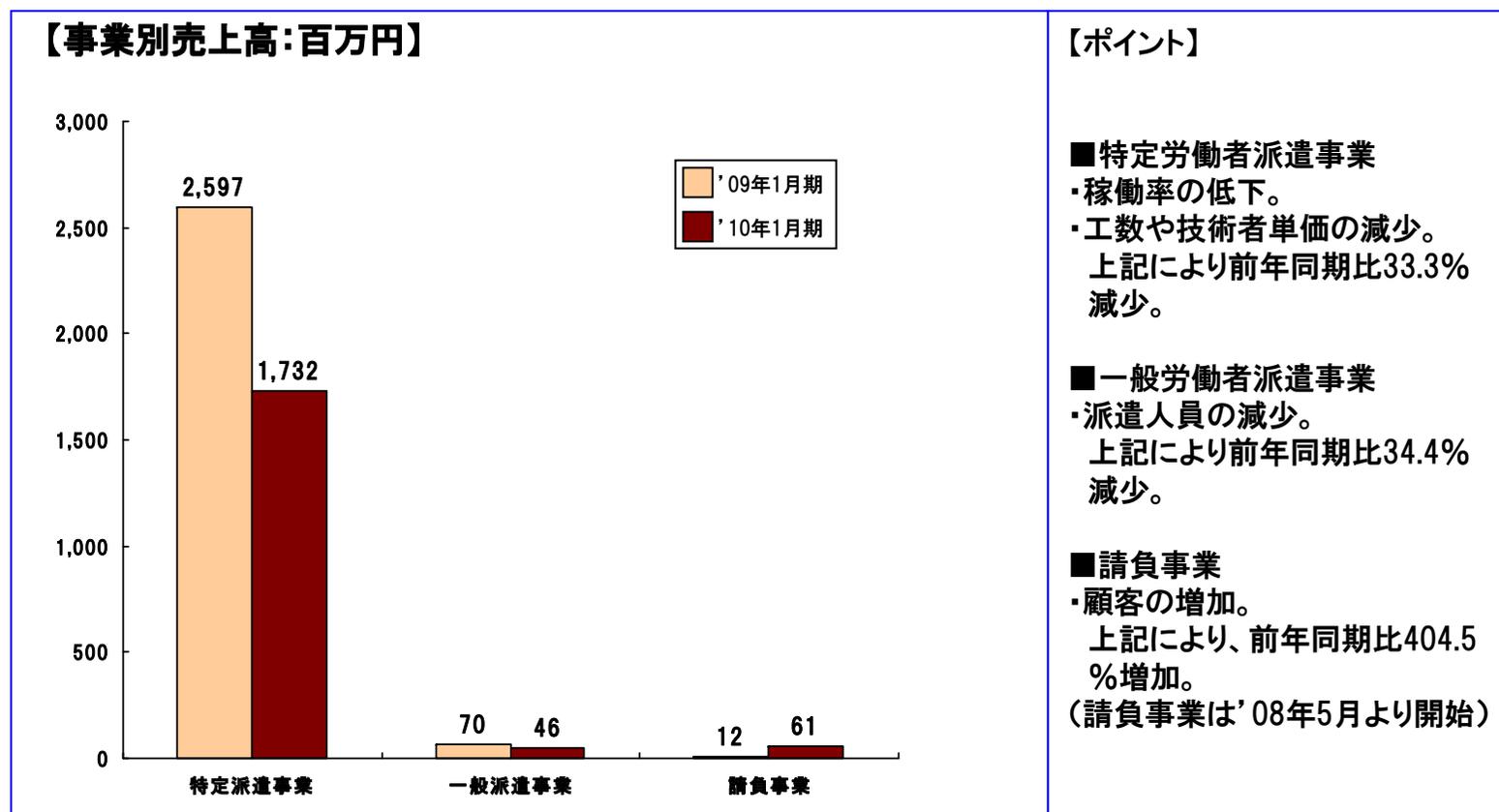


	'09年1月期 中間期		'10年1月期 第2四半期(累計)			【ポイント】
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)	前年比 (%)	
売上高(百万円)	2,681	100.0	1,840	100.0	▲ 31.4	■売上高 ・復帰者増加に伴う稼働率の低下。 ・顧客からの労働時間抑制要請に伴う工数の減少。 ・値下げ要請に伴う技術者単価の減少。 上記により前年同期比31.4%減少。 ■営業利益/経常利益 ・全般的な固定費の削減を実施するが、売上の減少分をカバーできず営業損失が発生。 ・雇用調整助成金を計上するが経常損失が発生。 ■純利益 ・賞与支給の凍結に伴い、前事業年度に計上した賞与引当金の戻入を特別利益に計上するが、繰延税金資産の取崩し等があり、純損失が発生。
営業利益(百万円)	173	6.5	▲ 293	▲ 15.9	—	
経常利益(百万円)	175	6.6	▲ 234	▲ 12.7	—	
純利益(百万円)	99	3.7	▲ 194	▲ 10.5	—	

※前年同期実績及び前年同期比増減率は参考として記載しております。

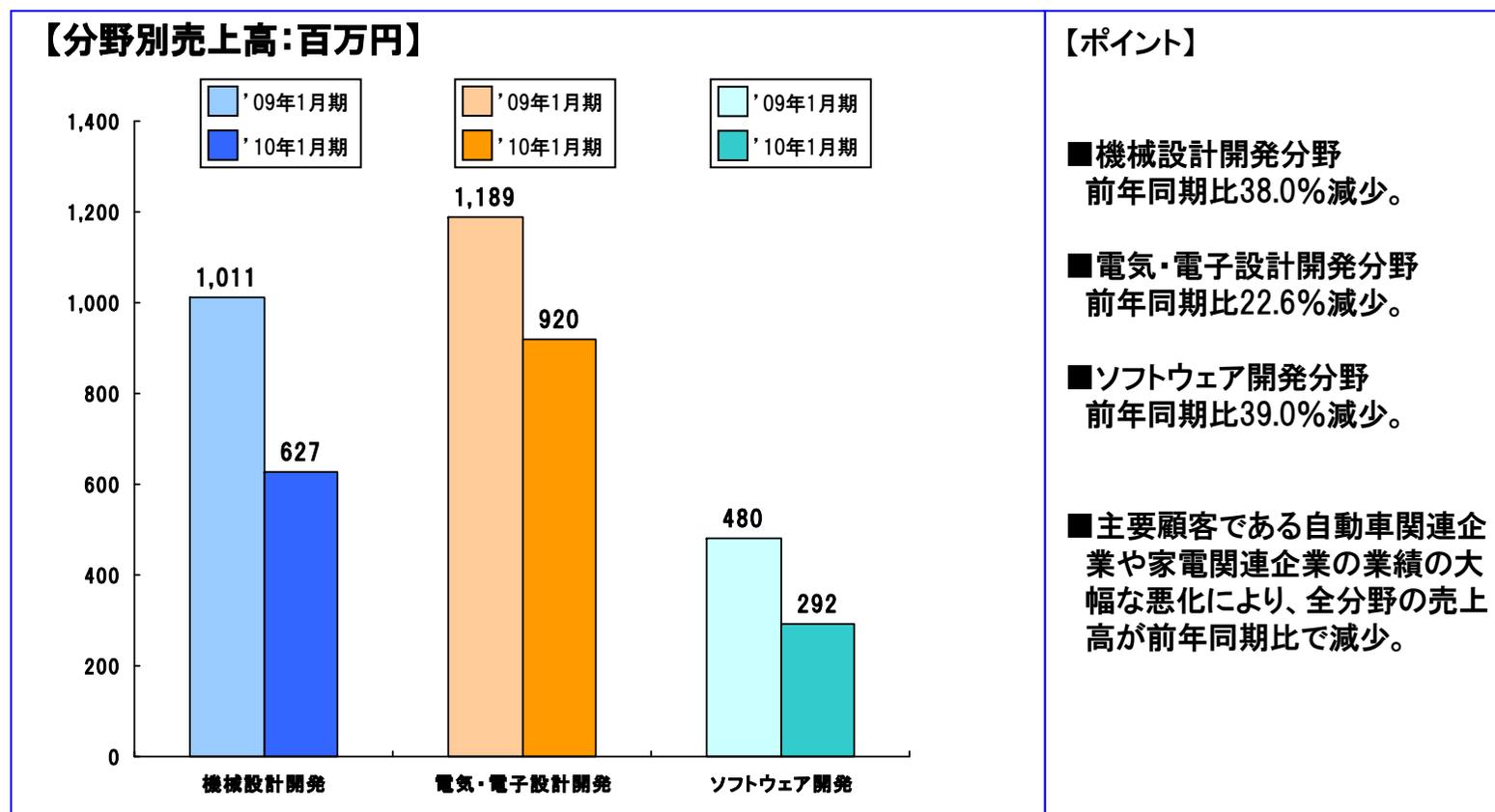
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

事業別売上高 <前年同期比>



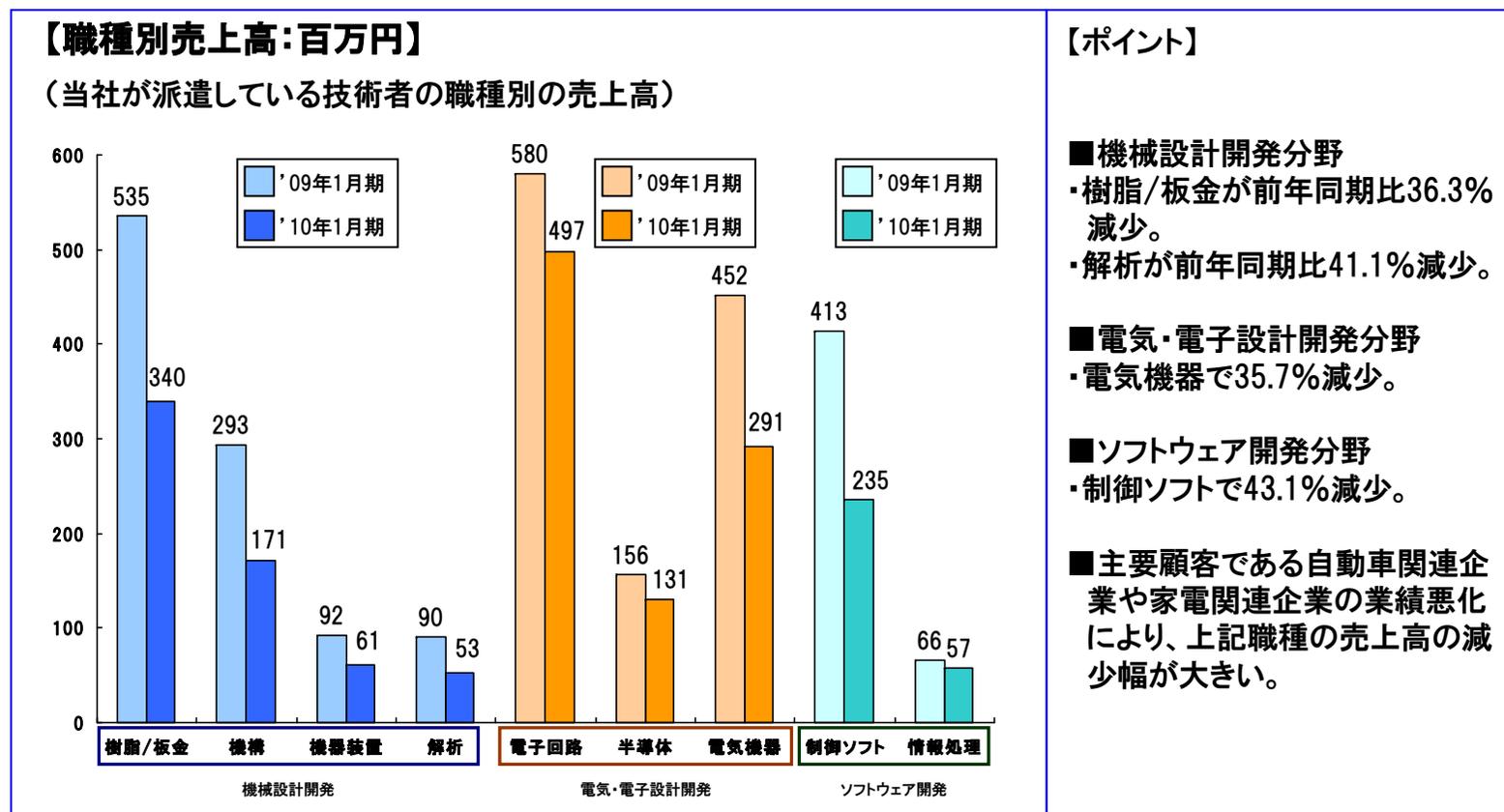
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

セグメント別①(分野別売上高) <前年同期比>



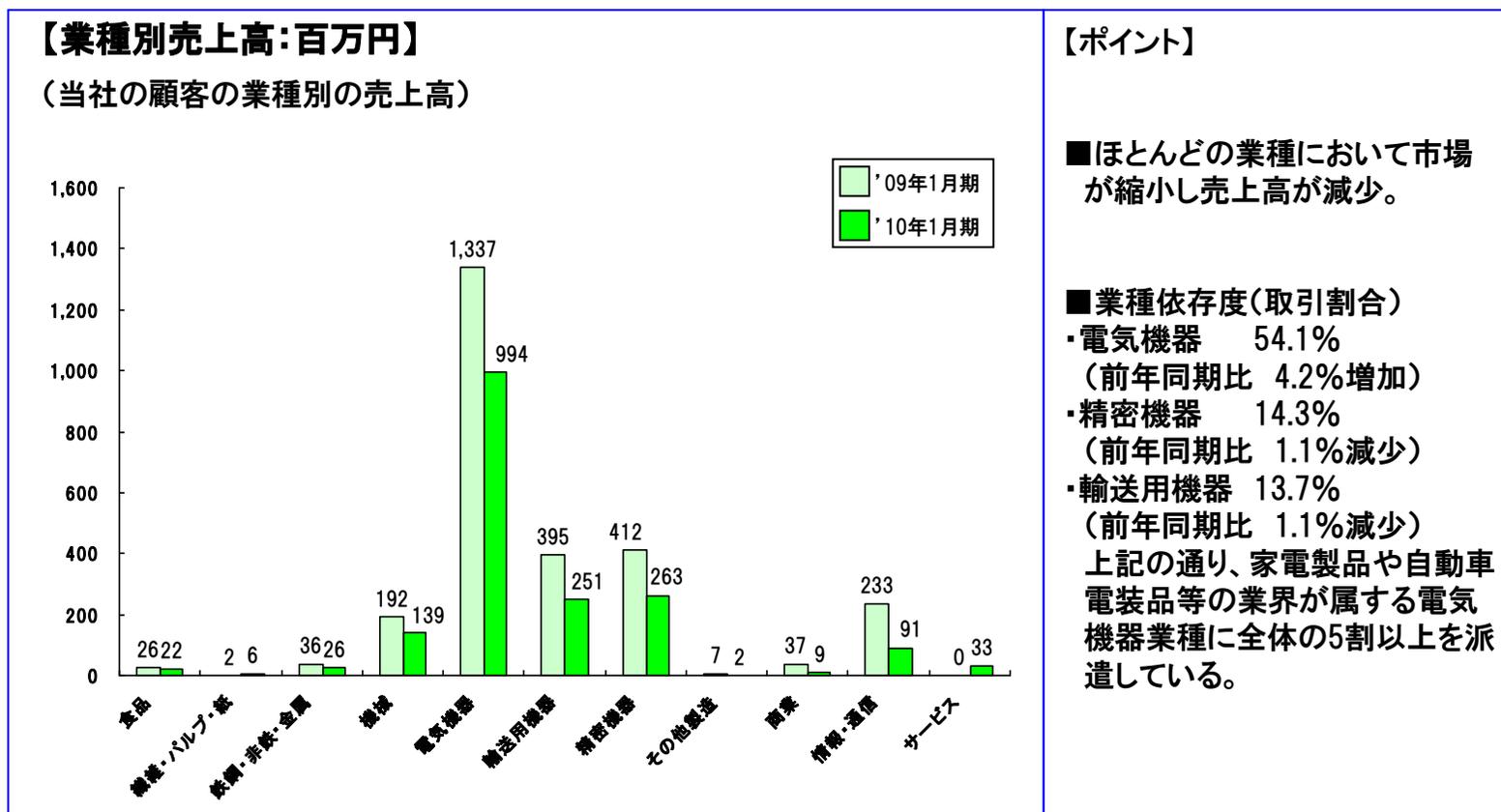
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

セグメント別②(職種別売上高) <前年同期比>



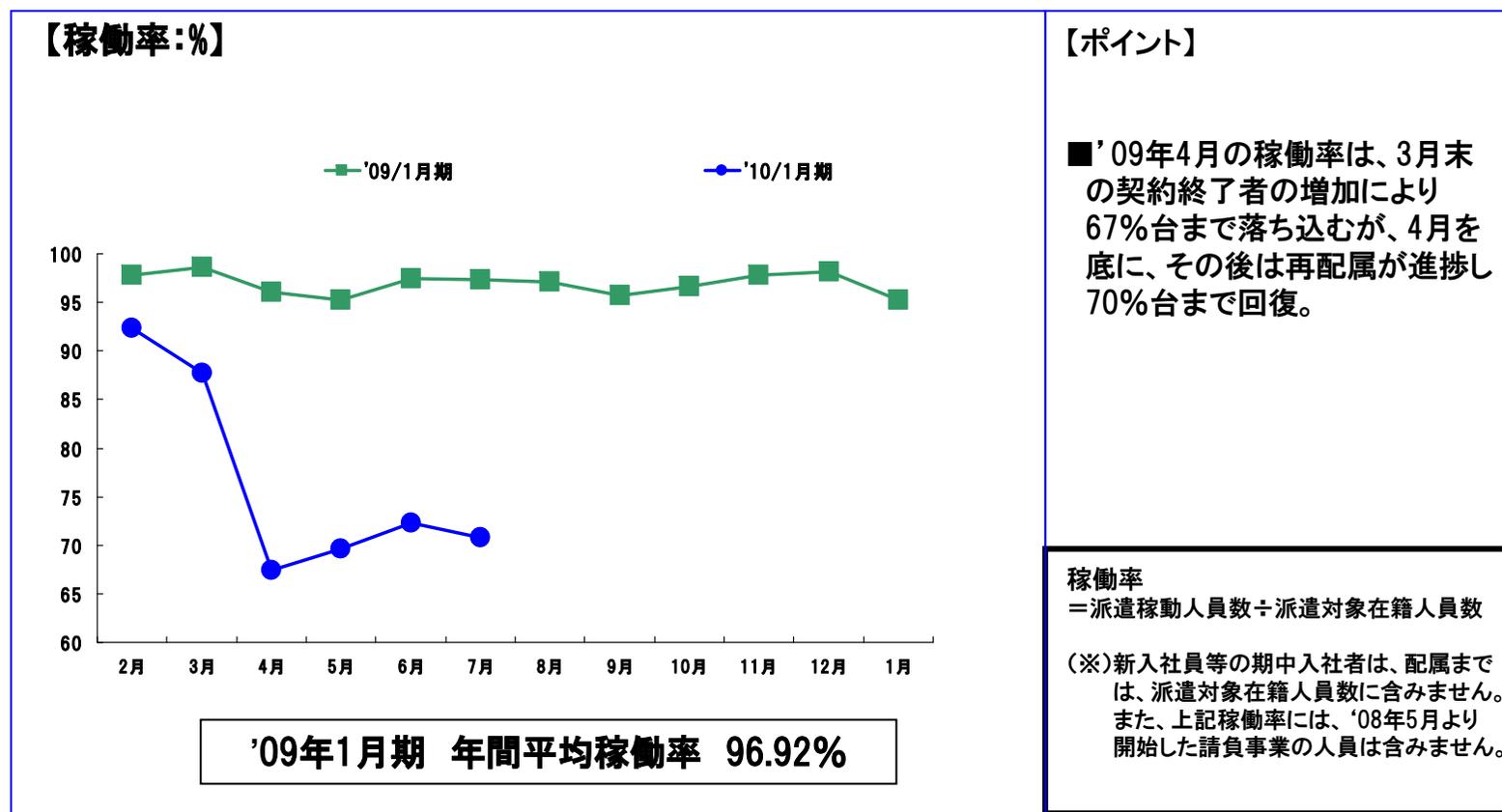
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

セグメント別③(業種別売上高) <前年同期比>



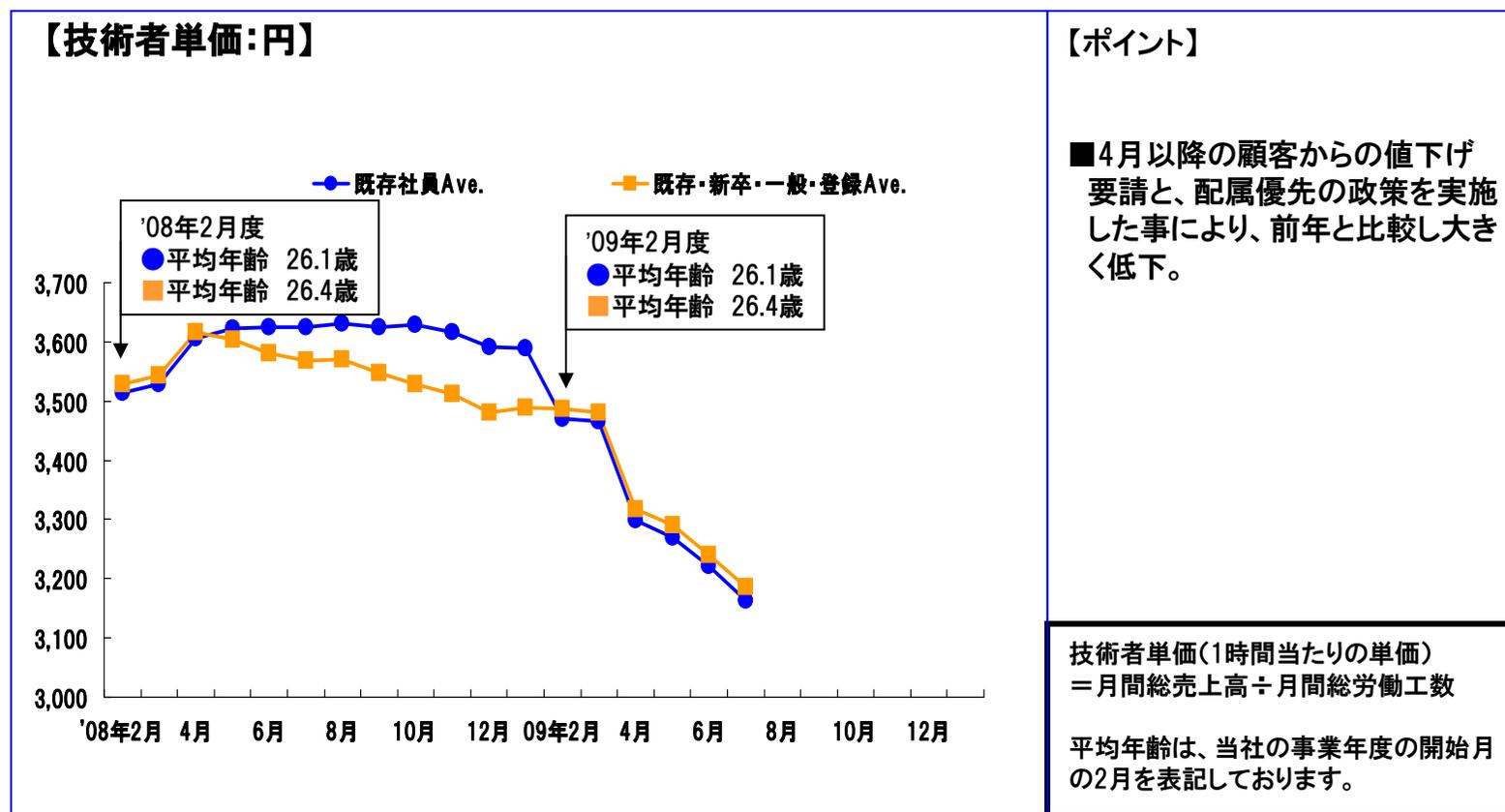
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

稼働率



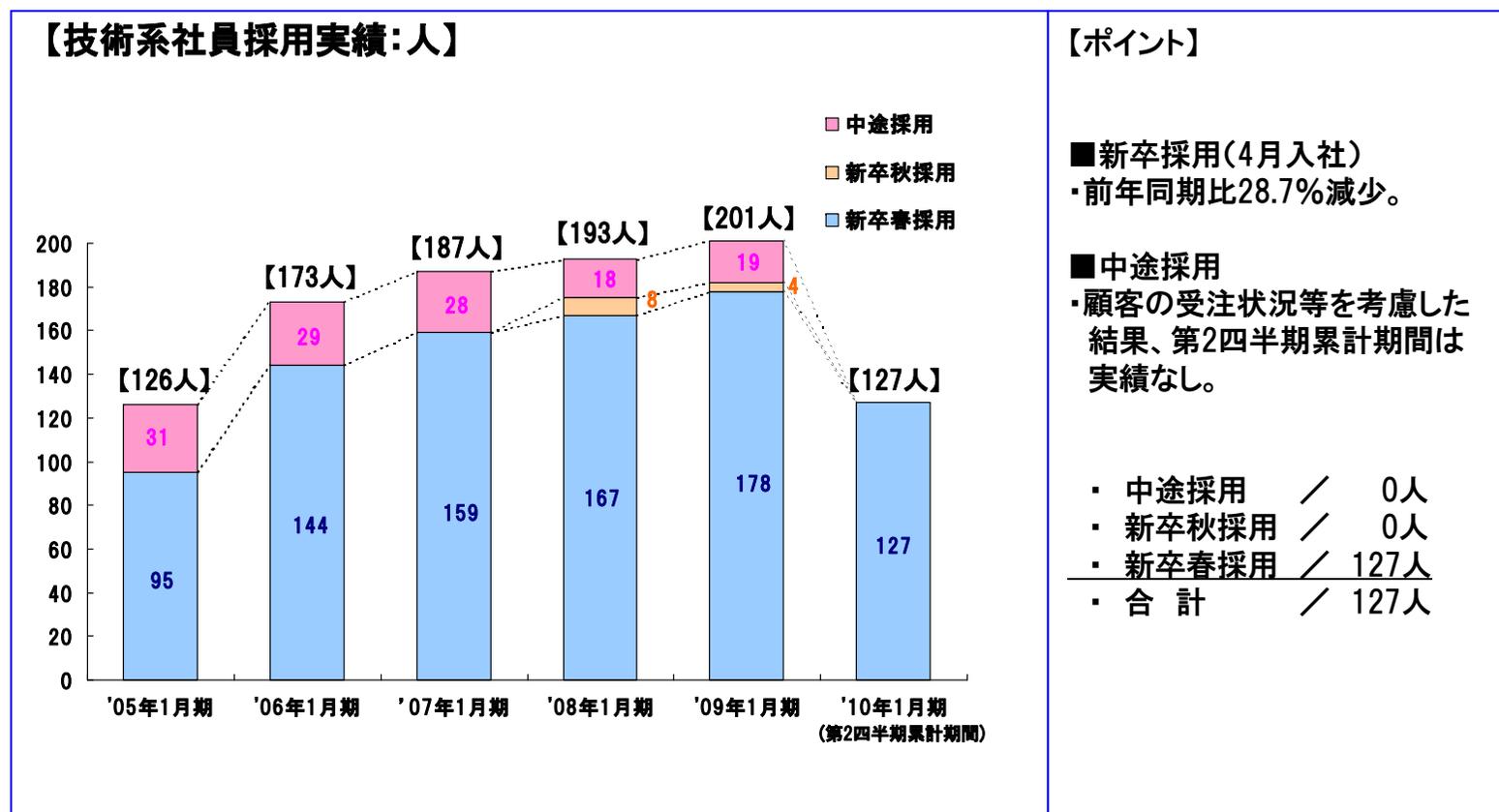
I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

技術者単価及び平均年齢



I 第48期('10年1月期) 第2四半期決算概要

技術系社員採用実績



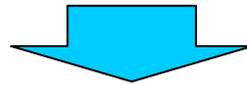
Ⅱ 第48期(’10年1月期)業績予想

Ⅱ 第48期(’10年1月期) 業績予想 業績予想及び配当予想の修正

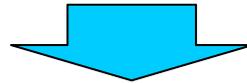


景気及び顧客状況の予測

- 製造業の底打ち感や在庫調整が進んではいるものの、景気回復にはいまだ不透明な部分が多い
- 顧客からの需要は、減らし過ぎた派遣技術者を一部補完するレベルと見られる
- 業績回復の兆しは製造業の予算が確定する来年以降とみられる



年初に予想した景気の回復時期が大きくずれ込む。
下期の稼働率、工数、技術者単価の全ての売上構成要素を見直した事により、
通期業績予想を修正。
また、業績悪化に伴い、配当予想を修正。



上記の経営責任を明確にするため、平成21年8月より取締役報酬の減額を決定。

Ⅱ 第48期(’10年1月期)業績予想 業績予想の修正内容詳細項目



■売上構成要素見直し内容

- 非稼働技術者の配属遅れに伴う稼働率の減少
- 第2四半期累計期間における顧客からの値下げ要請の受諾に伴う技術者単価の減少
- 客先指定休日の増加や残業規制等による時間内外工数の減少

■経費見直し内容

- 取締役報酬の減額並びに監査役報酬の自主返上
- 冬季賞与支給の凍結
- 採用コストの削減
- 社員寮の合理化
- その他固定費の全般的な削減

Ⅱ 第48期('10年1月期)業績予想 サマリー



	'09年1月期 通期業績実績		'10年1月期 通期予想(3月13日発表)		'10年1月期 通期予想(9月4日修正発表)			【ポイント】
	実績	百分比 (%)	年初 予想	百分比 (%)	今回 予想	百分比 (%)	前年比 (%)	
売上高 (百万円)	5,293	100.0	4,830	100.0	3,375	100.0	▲ 36.2	<p>■稼働率、工数、技術者単価を見直す事で、通期の売上高は前年比36.2%減少。</p> <p>■全般的な固定費の削減並びに雇用調整助成金を見込むが、経常損失503百万円を予想。</p> <p>■前期に計上した賞与引当金の戻入を見込むが、繰延税金資産の取崩し等があり、当期純損失464百万円を予想。</p> <p>■1株当たり配当金を無配に修正。</p>
営業利益 (百万円)	348	6.6	0	0.0	▲ 680	▲ 20.2	—	
経常利益 (百万円)	350	6.6	1	0.0	▲ 503	▲ 14.9	—	
当期純利益 (百万円)	198	3.8	0	0.0	▲ 464	▲ 13.8	—	
1株当たり 当期純利益 (円)	225.39	—	1.10	—	▲527.23	—	—	
1株当たり 配当金 (円)	80.00	—	80.00	—	0.00	—	—	

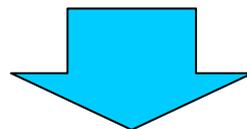
Ⅲ 今後の取り組み

Ⅲ 今後の取り組み 本年度の基本方針



本年度の基本方針は

「社員の雇用と給与の維持」



- 業績悪化を理由に、安易なリストラはせず、「社員の雇用」と「社員の給与」を維持します。
- 経費見直しのため、賞与支給の凍結や採用コストの削減等、全般的な固定費の削減に取り組みます。
- その他、雇用調整助成金を活用する事で、復帰した技術者の技術力と人間力のアップに取り組み、景気回復時に飛躍できるよう準備を進めます。

Ⅲ 今後の取り組み 下期の対応策



■各部門における対応策

採用部門

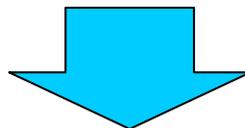
景気回復時の飛躍のために、会社の体力が許す限りは、新規採用を継続し、質・量ともに充実した技術者の確保を図ってまいります。

教育部門

雇用調整助成金を活用し、社員の雇用を守りながら、再度市場が求めている技術ニーズを総点検する事で、当社の人材育成システムであります「T字型スペシャリスト教育システム」に反映し、技術者の技術力と人間力のアップを図ってまいります。

営業部門

組織並びに提案体制を見直し、超短期でのサイクルにより、市場状況を確認・想定・行動・検証する事で、細かな顧客ニーズも取りこぼす事が無いように、徹底した行動を実施し、成約に結び付けてまいります。
また、顧客ニーズの多様化に柔軟に対応するため、請負提案を積極化し、安定的に顧客を増加させる事で、請負事業の更なる強化を図ってまいります。



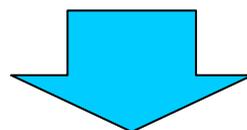
早期黒字化を目指してまいります。

Ⅲ 今後の取り組み (参考)政権交代に伴う労働者派遣法の行方



■想定される労働者派遣法の見直し内容について

- 製造現場への派遣を禁止する
- 専門業務以外の派遣労働者は常用雇用とする
- 短期派遣(日雇い派遣やスポット派遣)を禁止する 等



当社は、設計開発に特化した常用雇用型の特定労働者派遣事業を営んでおり、製造現場への派遣や短期派遣は行っていないため、政権交代に伴い、上記内容の法案が改正されたとしても、当社に与える直接的影響はありません。

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的风险や不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事がありますのでご承知ください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 アルトナー
経営戦略本部 IRグループ

TEL : 03-5472-7001

FAX : 03-3436-0806

E-mail : ir@artner.co.jp